

## 検査証

当製品は、弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。

No. \_\_\_\_\_



COMET



# COMET株式会社

本社 東京都千代田区富士見1-4-6 ☎102☎ 03(264)8621(代) FAX 03(264)6385  
東京営業所 東京都千代田区富士見1-4-6 ☎102☎ 03(264)8625(代) FAX 03(264)6385  
コマースナル東京 東京都千代田区富士見1-4-6 ☎102☎ 03(264)8668(直) FAX 03(264)6385  
大阪営業所 大阪市北区香染町1-3中坂ビル ☎530☎ 06(357)4330(代) FAX 06(357)4332  
コマースナル大阪 大阪市中央区平野町5-26平井ビル ☎541☎ 06(226)1701(代) FAX 06(226)1702  
福岡営業所 福岡市博多区豊2-1-4 ☎812☎092(411)1202(代) FAX092(411)1209  
札幌営業所 札幌市中央区南五条西12丁目 ☎060☎011(561)2488(代) FAX011(563)2620  
仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡4-4-10 ☎980☎022(295)1101(代) FAX022(295)1103  
名古屋営業所 名古屋市中区千種区内山1-14-5 ☎464☎052(732)2521(代) FAX052(732)2520  
広島営業所 広島市中区大手町3-12-2 ☎730☎082(247)6412(代) FAX082(247)3579  
高松営業所 高松市天神前11-28 ☎760☎0878(34)1800(代) FAX0878(37)1406  
東京工場 東京都江東区平野2-16-20 ☎135☎ 03(630)0881(代) FAX 03(630)0884  
コマースナル東京  
名古屋出張所 名古屋市中区千種区内山1-14-5 ☎464☎052(732)2521(代) FAX052(732)2520

# ILS-D SERIES

## 取扱説明書

ご使用の前に、この取扱い説明書をよくお読みください。

正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保存してください。

COMET

このたびは ILS-D 電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

**ILS-Dシリーズ電源部**

- |       |  |
|-------|--|
| 1 回路機 | <b>ILS-800D・600D</b>                     |
| 2 回路機 | <b>ILS-620D・530D・440D・<br/>420D・330D</b> |
| 3 回路機 | <b>ILS-422D・332D・222D</b>                |

**ILS-Dコントロール機器**

**ILS-SCBD**



**目次**

安全のために特にご注意ください	1
各部の名称とはたらき	2~5
操作のしかた	6~8
取り扱い上のご注意	9
仕様	10
保証とアフターサービス	11

**付属品**

- |            |      |   |            |   |
|------------|------|---|------------|---|
| 1. ACコード   | 3.5m | 1 | 5. ミニドライバー | 1 |
| 2. シグナルコード | 1.0m | 1 | 6. 保証書     |   |
| 3. アースコード  | 1.0m | 1 |            |   |
| 4. 予備ヒューズ  |      |   |            |   |

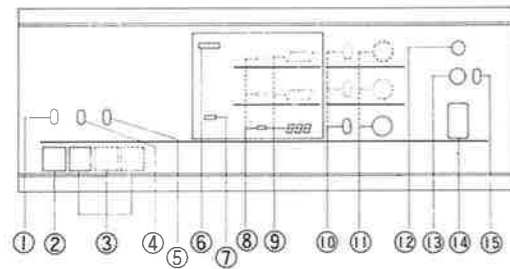
## 安全のために特にご注意下さい

- ヒューズは電源部に表示されている定格のものを必ずご使用ください。定格以外のものをご使用になると故障や火災の原因になります。
- 電源部内部は、スイッチを「OFF」にしても長時間高電圧が残っており、危険ですのでお客様ご自身での修理や改造はしないでください。
- ヘッドは高電圧がかかっておりますので放電管、モデリングランプの交換、清掃などの際には必ず、ヘッドコードを抜いて行ってください。
- 水のかかるところや極端に湿度の高いところでの使用は、故障や漏電事故の原因になるので行なわないでください。
- 濡れた手や素足での操作は感電の恐れがありますので行なわないでください。
- ヘッドの直前にビニールやトレーシングペーパーなどの燃えやすいものを近づけたり、ヘッドを床に置いての使用は火災の原因になりますのでしないでください。
- 感電を防止するため、必ず接地をしてください。

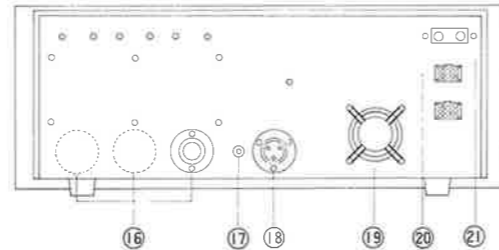
- ⑩ 各灯スイッチ  
各出力コネクタ⑩の出力を「ON/OFF」にするスイッチです。
- ⑪ 出力バリエーター (VARIATOR)  
ストロボ出力を FULL~1/6まで調光できます。  
モデリングランプの光量も連動しています。
- ⑫ テスト発光スイッチ (FLASH)  
ストロボのテスト発光やオープンフラッシュのときに使用します。
- ⑬ リモートセンサー (REMOTE)  
他のストロボの光を受けて同調発光させます。
- ⑭ シンクロソケット (SYNC.)
- ⑮ リモートセンサースイッチ  
リモートセンサーを「ON/OFF」にするスイッチです。IR シンクロ装置 (別売) を使用する場合は「OFF」にしてください。
- ⑯ 出力コネクタ (OUTPUT)  
ヘッドを接続するコネクタです。
- ⑰ アース端子
- ⑱ AC 入力コネクタ (AC)
- ⑲ 冷却ファン
- ⑳ シグナルコネクタ1・2 (SIGNAL)  
本機を複数台使用するときや ILS-SCBd (別売) を接続してコントロールするためのコネクタです。
- ㉑ 予備シンクロソケット (SYNC.)

# 各部の名称とはたらき

フロントパネル



リアパネル



- ① メインスイッチ (MAIN)  
ストロボ電源部を「ON/OFF」にするスイッチです。
- ② ●モデリングランプヒューズ (MOD.6A)  
モデリング回路を保護します。電源部に表示されている定格のヒューズを必ずご使用ください。
- ③ ストロボヒューズ (1~3ST.)  
ストロボ回路を保護します。電源部に表示されている定格のヒューズを必ずご使用ください。
- ④ モデリングランプスイッチ (MODEL)  
モデリングランプを「ON/OFF」にするスイッチです。
- ⑤ モデリングランプコンスタントスイッチ (CONSTANT)  
モデリングランプの光量を常に「FULL」の明るさにするためのスイッチです。「OFF」のときはストロボとモデリングランプの光量が運動します。
- ⑥ 充電完了表示ランプ (READY)  
このランプが消えているときは発光しません。
- ⑦ ACパイロットランプ  
通電中を表示します。
- ⑧ アラームランプ (ALARM)  
使用しているストロボのヘッドが、万一不発光になったとき、そのヘッドに対応する回路のランプが点滅し、ブザーで知らせます。
- ⑨ 出力インジケータ (WATT SECOND)

※イラストは1回路ですが2回路、3回路はそれぞれ点線の部品が増えます。

# 操作のしかた

## 1) メインスイッチ及び AC パイロットランプの確認

メインスイッチ①が「OFF」になっており、ACパイロットランプ⑦が消灯していることを確認してください。

## 2) ヘッドの接続

出力コネクタ⑩にヘッドを接続してください。このとき必ずコネクタの固定リングを締めつけてください。

## 3) AC コードの接続

ACコードをAC入力コネクタ⑮に接続して固定リングを締めつけてください。つぎにACプラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

なお、プラグから出ているアース線を必ず接地してください。プラグ部分で接地が困難な場合は電源部リアパネルのアース端子⑰をご使用ください。

## 4) 充電の開始

使用するヘッドが接続されている回路の各灯スイッチ⑩を「ON」にし、次いでメインスイッチ①を「ON」にするとACパイロットランプ⑦が点灯して充電が開始されます。

本機は、<sup>(注1)</sup>オートエージング回路を内蔵していますので、8時間以上通電がなかったときは、メインスイッチ「ON」後、充電完了に約1分要します。

オートエージング回路がはたらいているときは設定出力や各灯スイッチ⑩の「ON/OFF」に関係なくFULL充電されます。

この間、モデリングランプおよび充電完了ランプは消灯しております。出力インジケータ⑨はFULL出力を点滅で表示しています。

オートエージングが完了すると出力インジケータ⑨は連続点灯表示になり、モデリングランプが点灯します。

設定出力がFULL以外のときは、<sup>(注2)</sup>ディスチャージされますので設定出力になるまで数秒かかって充電完了表示ランプ⑥が点灯し発光可能になります。

オートエージングを途中でやめる場合は、メインスイッチ①を一度OFFにしてください。

なお、オートエージング中は発光操作をしても発光しません。

(注1) ストロボのメインコンデンサーは、長期間通電しない場合や、電圧調光式ではFULL出力以下の設定出力で長期間使用していると劣化します。これを防止するためにときどきFULL出力で充電する事をいいます。本機では8時間以上使わなかった場合、電源を入れると自動的に約1分間のFULL出力充電を行ないます。

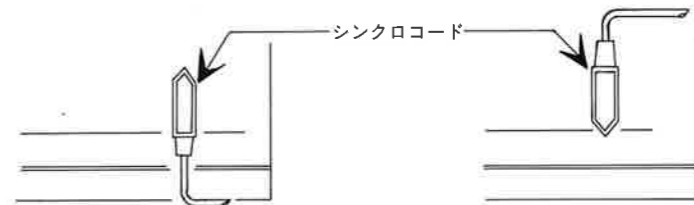
(注2) 設定出力を下げたときにコンデンサーに充電されている電気エネルギーを設定出力まで放電させることをいいます。

## 5) シンクロコードの接続

シンクロコードを本機のシンクロソケット⑱とカメラに接続します。

カメラにM・X接点のあるものについては必ずX接点にしてください。

シンクロ接点が電子式のカメラでは、シンクロに極性のあるものがありますのでご注意ください。もし下図(1)で発光しない場合は、図(2)のように差し替えてご使用ください。



(注) 本番の撮影をされる前にテスト撮影で確かめられることをおすすめいたします。

## 6) テスト発光

テスト発光スイッチ⑫を押して全灯発光することを確認してください。カメラのシャッターでも同様の確認をしてください。またリモートにて同調発光させるときも、同様に他のストロボを発光させて確認してください。

## 7) 調光の操作

ILS-D シリーズは、各回路がそれぞれに16段階のクリックストップでFULL～約 $\frac{1}{2}$ (2 $\frac{1}{2}$ EV)まで調光することができます。

### ●出力を上げるとき

出力バリエーター⑩を右にまわすと、出力インジケータ⑨の数値が大きくなり出力が上がります。

### ●出力を下げる時

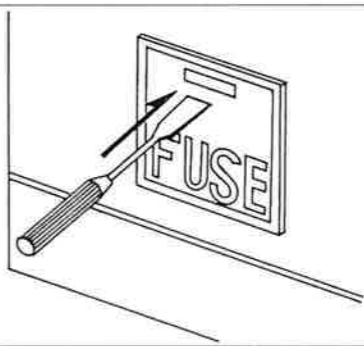
出力バリエーター⑩を左にまわすと、出力インジケータ⑨の数値はすぐに小さくなりますがディスチャージ完了までは数秒かかります。

●いずれの場合も出力が設定値になるまでの間、充電完了表示ランプ⑥は消灯しております。また発光操作をしても発光しませんのでご注意ください。

# 取り扱い上のご注意

- 1) ヘッドコードの着脱は必ずメインスイッチ①を「OFF」にしてから行なってください。
- 2) 冷却ファン⑱の通風を妨げないようにご注意ください。
- 3) IR シンクロ装置(別売)をご使用になるときは、必ずリモートセンサースイッチ⑮を「OFF」にしてください。
- 4) ヒューズを交換するときは、メインスイッチ①を「OFF」にして行なってください。  
ヒューズホルダーの蓋をはずすときは下図の様に操作してください。

蓋の穴に先の細いものを入れて  
押すとヒューズが蓋ごととび出  
します。



# 仕様

(標準機種の一部)

品名	ILS-600D電源部	ILS-440D電源部	ILS-222D電源部	
形式	ILS-600D	ILS-440D	ILS-222D	
定格電圧	AC100V±10%・50/60Hz			
最大出力 (Ws)	600×1回路	400×2回路	200×3回路	
調光範囲	Full~1/6(16段階・1段階1/6EV)			
調光方式	電圧調光			
出力表示	LEDデジタル数字方式			
充電時間	2.5秒(Full)			
シンクロ電圧	DC 12V			
ヒューズ定格	制御回路	1A・3A(各1本電源部内部に取付け)		
	*ストロボ	12A×1	7A×2	4A×3
	モデリング	6A		
リモートシンクロ装置	ソーラーセル受光方式(offスイッチ付き)			
定電圧装置	IC制御方式(出力Ws±1%)			
オートエイジング装置	8時間以上、通電しなかった場合、約1分間、出力設定値に関係なくFULL充電する。 (メインコンデンサの保守をする)メインスイッチのON/OFFで解除			
ディスチャージ装置	出力を下げた時作動(作動中シンクロ及びリモートは作動しない)			
各灯スイッチ	1	2	3	
不発光警報	ARARMランプ点滅・電子ブザー(連続音) READYランプ消灯・各灯スイッチ又は、メインスイッチで解除			
シンクロソケット	フロントパネル 1(CXタイプ)・リアパネル 2(ピンジャック)			
冷却ファン	リアパネル面より吹き出し方式			
付法 (mm)	470(w)×177(h)×350(d)(カラー脚・ネジ頭含む)			
重量 (kg)	約9.7	約10.5	約11.0	

\*800Ws/600Wsブロック12A. 500Wsブロック10A. 400Wsブロック7A. 300Wsブロック6A. 200Wsブロック4A.

上記の仕様は、改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書、保証期間

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書には、必ず「販売店名、購入日」などの所定の記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間はご購入の日より1年間です。

使用上の誤り(仕様説明書の注意等)、およびお客様自身の修理、改造等によって生じた故障、事故については保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

## 保証期間経過後の修理

ご要望により有償で修理いたします。

## アフターサービス

本機は、厳重に調整、検査をして出荷されておりますが、万一故障等の場合はお買上げ店、または弊社営業所にご連絡ください。